

|              |                                                                                   |          |           |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|
| 団体名          | 各務原太鼓保存会                                                                          |          |           |
| 助成金種類<br>事業名 | まちづくり助成<1年目><br>地域の伝統芸能和太鼓の継承と地元愛の育成事業                                            |          |           |
| 事業概要         | 日本の伝統芸能である和太鼓の文化を絶やさないよう、和太鼓の普及活動を行う。若い方も興味を持てるようなエンターテインメント性のある新しい曲を市民の皆様と作り上げる。 |          |           |
| 事業費総額(確定)    | 459,608 円                                                                         | 助成金額(確定) | 300,000 円 |
| 主な経費内容       | チラシ印刷費、楽譜印刷費、練習会場費、太鼓の皮の張替え、ワイアレスマイクロホン                                           |          |           |

## ●実施内容

### <ワークショップ内容>

- ① 和太鼓の基礎練習
- ② いろいろなリズムを打ってみる
- ③ リズムを組み合わせ曲を作る
- ④ 作った曲の練習

ワークショップにて完成した曲を各務原太鼓保存会にて編曲。笛のメロディーも付け、多くの方が興味を持てる曲にした。

|              |                       |         |
|--------------|-----------------------|---------|
| 5 月          | 打ち合せ                  |         |
| 6 月          | 打ち合せ、各学校へチラシ配布        |         |
| 8 月 27 日(日)  | 第 1 回ワークショップ:福祉の里     | 参加者 8 人 |
| 9 月 2 日(土)   | 第 2 回ワークショップ:福祉の里     | 参加者 8 人 |
| 9 月 3 日(日)   | 第 3 回ワークショップ:福祉の里     | 参加者12人  |
| 10 月 14 日(土) | 第 4 回ワークショップ:コミュニティ炉畑 | 参加者8人   |
| 10 月 21 日(日) | 第 5 回ワークショップ:コミュニティ炉畑 | 参加者10人  |
| 11 月 11 日(土) | 第 6 回ワークショップ:福祉の里     | 参加者7人   |
| 12 月         | 編曲・曲練習                |         |
| 1 月          | 編曲・曲練習                |         |
| 2 月          | 振り返りの会                |         |



## ●事業の成果

- ・和太鼓に触れる機会のない子供達が、和太鼓に興味を持つきっかけを作ることができた。
- ・「体験会ではなく、作曲のワークショップだった事で、子供がより深く興味を持ち、2回目・3回目の参加に繋がった」とのコメントを頂いた。自分達で作った曲という意識が芽生え、ただ太鼓を叩くだけだった体験会と比べ、より和太鼓を身近に感じてもらえる事業になった。
- ・ワークショップの最後には「興味があれば是非地域の和太鼓にも参加してみてください」とお伝えした。

## ●団体の活動目的・目標

「児童の心身の健全な発達と郷土愛の育成並びに、各務原市に伝わる地域芸能伝承を行うと共に、地域の住民の文化的向上に寄与する事」を目的とし活動。各務原市に伝わる伝統芸能である和太鼓・篠笛・三味線等の和楽器を伝承するだけでなく、演奏する子供達が、地元への愛着を持って心身共に健全に発達する環境づくりを目標とする。